

しまし 議会だより

Shimashi
Gikai

第84号

2025. 11. 15



『和具漁港』

おおやま きょうか

志摩中学校3年生 大山 京華

～第44回全国豊かな海づくり大会開催決定記念～

第4回志摩市景観絵画コンクール

中学校の部・最優秀賞

(大山さんが中学校2年生の時に描いた作品です。)

テーマ：わたしの好きな志摩市の景観

場 所：和具漁港

場所の選定理由：小さいときから和具の海を見ていてその景色がとてもきれいだったことを思い出し、描きたいと思ったから。

第3回定例会

令和6年度決算認定等を可決

【主な掲載内容】

・定例会での主な審議 ・一般質問 市政のここを聞く！ ・こんにちは志摩びとさん

第2回臨時会

令和7年度一般会計補正予算等を可決



令和6年度 一般会計歳入歳出決算額

市のお金がどのように使われたのか、令和6年度の一般会計を含む
全8会計の決算を、付託された予算決算常任委員会で審査しました。
市政全般にわたり、委員から数多くの質疑がありました。
その中から、いくつかをお知らせします。



YouTube「志摩市議会」チャンネルでは議会の録画映像を視聴できます。

【URL】<https://www.youtube.com/channel/UCCkomb70ND19H0Yg7ZZqLgw>

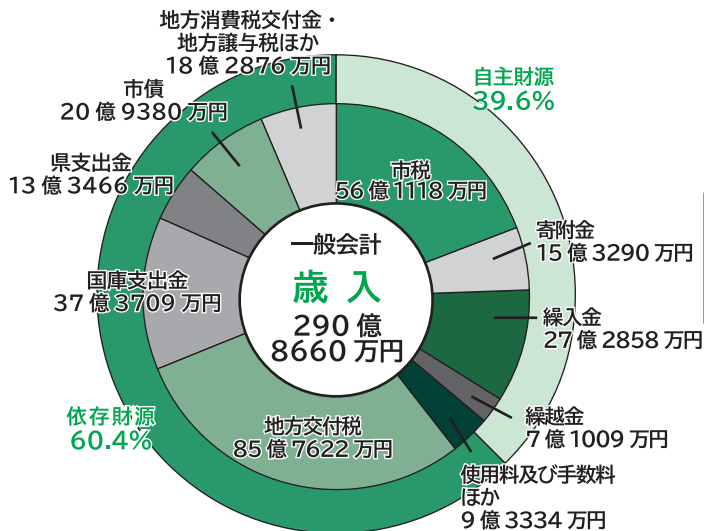


9月

第3回定例会

2

9月 第3回定例会

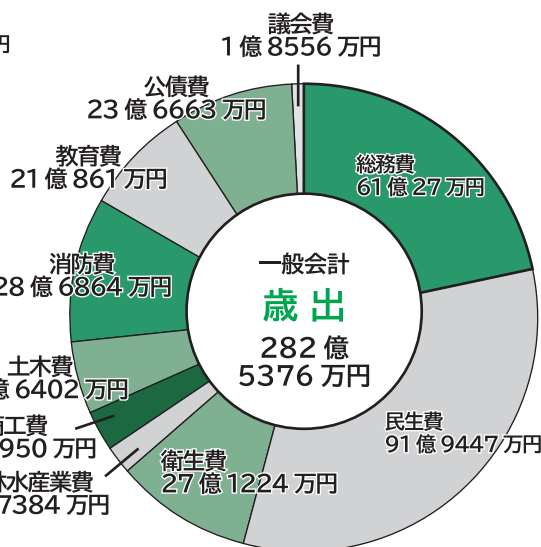


歳入 1.4% 増

歳入決算額は約 290 億円となり、令和 5 年度より約 4 億円増加し、増減率は、1.4%となりました。

歳出 1.0% 増

歳出決算額は約 282 億円となり、令和 5 年度より約 3 億円増加し、増減率は、1.0%となりました。



会 期

9/1~9/25

認 定

8件

議 案

10件

その他

10件

請 願

4件

発 議

5件

一般質問

12人

令和6年度各会計の決算額

会計名		歳入決算額	(内一般会計繰入額)	歳出決算額
特別会計	国民健康保険特別会計	61億3256万円	(5億68万円)	59億9195万円
	後期高齢者医療特別会計	17億1216万円	(10億3401万円)	16億9157万円
	介護保険特別会計	77億7651万円	(11億5617万円)	76億386万円
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	663万円	(0円)	445万円
企業会計	水道事業会計	収益的	17億6227万円 (315万円)	15億4000万円
		資本的	2億9543万円 (1701万円)	6億8570万円
	下水道事業会計	収益的	5億575万円 (2億3597万円)	4億7529万円
		資本的	1億1099万円 (7973万円)	2億6686万円
	国民健康保険病院事業会計	収益的	14億3262万円 (3億7507万円)	15億1165万円
		資本的	2億5739万円 (1億3779万円)	2億9820万円

※数値は端数調整してあるため、合計が相違する場合があります。



※詳細は市ホームページ、主要施策の成果に関する説明書(令和6年度)に掲載しています。

応募者全員が参加できる事業に

若者の集いと出合いの支援事業

結婚を希望する若年層の結婚支援として、間崎島や渡鹿野島等でマッチングイベントを開催し、若者の出合いの場の創出・出合いの促進や地域活性化を図ったものです。

問 支援事業の成果と課題を問います。

答 定員を大きく上回る159人の応募がありました。

答 参加者数の定員は、限られた時間内に参加者が一組12人のマッチングが成立しました。成果は今後、出保すること、女性の申し込みが少なく、男女のバランスを考えて募集しました。



住や関係人口の創出につながっていくものと認識しています。

課題は、応募者の女性が男性より少ないということから、市内の女性に多く参加してもらえ企画の検討が必要であると感じています。

問 3つの事業の応募者数がそれぞれ51人、39人、69人ですが、応募者全員が参加できなかった理由を問います。

高齢者に好評 デマンド交通の実験

コミュニティバス 運行事業

交通空白地域における地域住民の交通手段を確保するため、予約運行型バスを業者委託し、運行しました。

問 令和6年度のデマンド交通実証実験の取り組みを問います。

答 令和5年度に実施したアンケートの意見を基に、アンケートの追加や運行日の変更を実施し、薬剤師会等、関係機関への周知協力を求めるとともに、情報発信を

強化しました。

結果、認知度の向上や口コミによる利用促進が進み、利用者は10%から30%へと増加が見られました。

一方、財政面の負担軽減や効率面の改善が課題となっています。

問 高齢者から停留所までの距離に負担を感じているとの意見がありますが、対応を問います。

答 可能な限り対応しましたが、年度途中の要望については次年度への反映を検討したいと思っています。



大王町で実施したデマンド交通

記念イベント 成果と効果

市制20周年記念 推進事業

令和6年度に市制20周年を迎えたことによる各種記念事業を、市民や企業等の各団体とともに実施したものです。

問 事業成果を問います。

答 キックオフイベントには約5000人、ライトアップイベントには約8300人の来場者があり、大きな成果があったと評価しています。一年で約70件の事業を実施し、延べ12万6000人が参加しました。

市民が市の発展を実感し、地域への愛着や誇りを育む機会となったと考えます。

問 あおさ味のベビースターラーメンを記念に配布していますが、これは市内外へのPRにどのような貢献したと評価していますか。

答 パッケージに市のロゴや名所を載せることで、市民だけでなく市外の人にも

市の魅力を効果的にアピールできました。

市民の愛着や誇りを育むことにもつながり、PRに大きく貢献できたと認識しています。



市内観光地を使用した、市制20周年記念のパッケージ

認定第1号

病児保育の無償化で利用者増加に

病児保育事業

子どもが病気や病気の回復期において、家庭での保育・看護等ができない場合、保護者に代わり行うなど、子育て世帯の負担を軽減し、安定した子育てが行えるように支援するものです。

問 病児保育利用者が令和5年度は延べ145人に対し、令和6年度は延べ304人でした。

答 主な要因は、利用料が無償化されたことです。これにより、これまで経済的な負担を懸念して利用をためらっていた保護者が、より利用しやすくなったと考えています。



支えあう子育て

問 利用料の無償化がもつと周知されると、さらに利用者数は増えると思います。周知方法について、今後何か工夫はありますか。

答 病児保育の無償化は、広報や市ホームページで周知を行ってきました。今後は、保護者へのメール配信等も活用し、さらなる周知に力を入れていきたいと考えています。

委員会での
討論

予算決算常任委員会

認定第1号 令和6年度

一般会計歳入歳出決算認定

反対

上村 秀行 議員

議員12年目の私には、決算認定においては毎年疑義が生じておりました。詳細に調査をすれば一年中決算委員会をしても時間が足りません。今までの決算と同様、疑義があります。今回の決算認定において反対いたします。

反対

山川 楠人 議員

宿泊税検討委員会は、宿泊事業者への十分なヒアリングや適切なアンケートを行わずに導入案を提出しました。約500万円の費用が無駄になり、宿泊事業者を混乱させた現状を、市は深く反省すべきです。

第3回定例会で可決

令和7年度 一般会計補正予算



補正額（第4号） △3億6451万8千円

ごみ処理施設解体工事が令和8年度にずれのため 他

補正額（第5号） 1億8914万7千円

新たな事業や緊急対策のための経費 他

予算総額 283億6039万8千円

補正第5号

生徒が主役の夢づくり事業

中学校総務一般経費
未来につながる夢づくり
委託料 600万円

市内にある各中学校の子どもたちが主体となって、アクティビティ体験や芸術鑑賞等の事業を計画・実施するため、イベント会社等に業務委託するものです。

問 委託先と事業の内容を問います。

答 委託先は、それぞれの事業を実施するイベント会社等になると考えています。事業内容はアクティビティ体験、芸術鑑賞、サイエンスショー、花火大会、プラネタリウム体験、文化共生事業等、各学校が独自で計画を策定しています。



わくわくする体験を

問 同じような寄附が過去にもありましたが、事業内容を問います。

答 令和4年度に小学校も含め各中学校へ寄附があり、同様の事業を実施しています。

問 同様の事業ということ、それぞれの学校で中身は全部違ってくるということですか。

答 各学校それぞれ、子どもたちが生徒会等を主体として考え、それぞれの事業を実施しています。

常任委員会の審査から

委員会に付託された案件を審査しました。ここでは主な質疑を掲載します。

総務産業 常任委員会
主な質疑

議案第62号
債権の放棄（水道料金債権）

水道料金滞納者の死亡等に伴い、納付が見込めないと判断された債権の放棄について、議会の議決を求めるものです。

さらなる健全徴収を

問 所在不明が84件、中でも長い滞納の理由を問います。

答 滞納者へ給水停止の体制がないころは、長期間滞納がありました。給水停止制度開始のころは、6カ月滞納で停止手続きが始まる制度でした。

現在は2カ月滞納で、給水停止手続きを開始し、また常習者には1カ月の滞納で手続きを開始するなど、滞納が長期間にならないよう努めています。

委員会での
討論



総務産業常任委員会

議案第59号 市職員等の旅費に関する条例等の一部改正

市職員等の旅費に関して、旅費の種目等を変更する・日当を廃止し、宿泊手当てを新設する・宿泊する地域別に、宿泊費を設定する・定額支給から実費に基づいた支給方法に変更する等、見直しを行い、条例を一部改正したものです。

反対

下村 卓也 議員

今回の一部改正は、市職員組合や市議会に何の説明もなく議案が提出されました。
物価高騰対策を掲げ、特別職3人だけが恩恵を受ける改正内容となっています。現在定められている金額のみを見直すべきです。

教育厚生 常任委員会
主な質疑

議案第63号
債権の放棄（診療費等債権）

診療費滞納者の破産等に伴い、納付が見込めないと判断された債権の放棄について、議会の議決を求めるものです。

債権放棄は
回収努力の末に

問 法律事務所との提携から約4年間、どのような流れで債権放棄に至ったのかを問います。

答 令和3年から弁護士事務所と未収金徴収の委託契約を進め、高額なものや古いものから優先的に調査を進めてきました。今回の案件は、その優先順位のなかで令和7年になったものです。

請願を採択しました

志摩市PTA連合会ほかから4件の請願書が提出され、採択しました。

○子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書

○教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書

○防災対策の充実を求める請願書

○義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書

※審査を付託された教育厚生常任委員会での採択を受け、同委員会委員長より発議第5号～第8号として同意見書が提出され、すべて可決しました。意見書は後日、政府・各関係機関に提出しました。



【ひとくち解説】

請願とは、住民が国会や地方議会に対し、「〇〇してほしい」と文書によって希望を伝えるものです。提出する議会の紹介議員が必要となるなど、要件が定められています。



議案の審議結果一覧



●全会一致で可決した議案

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

区分	議案名
条例	改正
	議案第58号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正
	議案第60号 半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正
	廃止
	議案第57号 まちづくりクラウドファンディング活用支援基金条例の廃止
予算	補正予算
	議案第49号 令和7年度一般会計補正予算(第4号)
	議案第50号 令和7年度一般会計補正予算(第5号)
	議案第51号 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
	議案第52号 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	議案第53号 令和7年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
	議案第54号 令和7年度国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)
決算	議案第55号 令和6年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
	議案第56号 令和6年度下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
	認定第2号 令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
	認定第4号 令和6年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定
	認定第6号 令和6年度国民健康保険病院事業会計決算認定
請願	請願第4号 防災対策の充実を求める請願書
発議	発議第4号 議会委員会条例の一部改正
	発議第7号 「防災対策の充実」を求める意見書
その他	報告第8号 令和6年度一般会計継続費の精算報告
	報告第9号 健全化判断比率
	報告第10号 資金不足比率(水道事業会計)
	報告第11号 資金不足比率(下水道事業会計)
	報告第12号 資金不足比率(病院事業会計)
	報告第13号 専決処分の報告(損害賠償の額を定めること)
	議案第61号 債権の放棄(住宅新築資金貸付債権)
	議案第62号 債権の放棄(水道料金債権)
	議案第63号 債権の放棄(診療費等債権)
	議案第64号 工事請負契約の変更(令和6・7年度 阿児清掃センター解体工事)

●賛否が分かれた議案と審議結果

(付託委員会) 予…予算決算常任委員会 総…総務産業常任委員会
※中村孝司議長は表決に加わりません。【○：賛成 ×：反対】

区分	議案名	委員会付託	山 川 桶 人	堀 江 し お ん	濱 野 由 人	松 井 研 二	森 光 子	山 本 桂 史	下 村 卓 也	井 上 幹 夫	前 田 俊 基	濱 口 卓	渡 辺 友 里 夏	上 村 秀 行	金 子 研 世	野 名 澄 代	山 下 弘	小 河 光 昭	西 崎 甚 吾	賛 成	反 対	結 果
条例	議案第59号 市職員等の旅費に関する条例等の一部改正	総	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	10	7	可決
予算	認定第1号 令和6年度一般会計歳入歳出決算認定	予	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	15	2	認定
	認定第3号 令和6年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	予	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1	認定
	認定第5号 令和6年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	予	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1	認定

●賛否が分かれた議案と審議結果

(付託委員会) 教…教育厚生常任委員会

※中村孝司議長は表決に加わりません。【○: 賛成 ×: 反対】

区分	議案名	委員会付託	山川 楠人	堀江しおん	濱野 由人	松井 研二	森 光子	山本 桂史	下村 卓也	井上 幹夫	前田 俊基	濱口 卓	渡辺友里夏	上村 秀行	金子 研世	野名 澄代	山下 弘	小河 光昭	西崎 甚吾	賛成	反対	結果
請願	請願第2号 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	15	2	採 択
	請願第3号 教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	15	2	採 択
	請願第5号 義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	15	2	採 択
発議	発議第5号 「子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書	なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	15	2	可 決
	発議第6号 「教職員の欠員を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充」を求める意見書	なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	15	2	可 決
	発議第8号 「義務教育費国庫負担制度の充実」を求める意見書	なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	15	2	可 決

7

9月 第3回定例会

本会議での
討 論



議案第59号 市職員等の旅費に関する条例等の一部改正

反対

下村 卓也 議員

関係者に何の説明もなく、条例で定める必要のある旅費金額の規則委任は、その議決権を議会に放棄させようとするものと解釈できま

賛成

濱口 卓 議員

地方自治法第15条第1項に基づき、旅費の詳細は市長が規則で定める権限があるため、適法です。他の条例にも同様の事例があり、議会の議決権を侵害しない妥当な運用と考え、本議案に賛成します。

反対

小河 光昭 議員

今回の改正は、条例で定める旅費を規則で定めるため議会の議決が必要なくなり、議会の監視機能が損なわれます。また、特別職のみ大幅値上げとなることや、職員組合との調整もせず、議会との協議もなく提出されました。

反対

上村 秀行 議員

議員12年目の私には、決算認定においては毎年疑義が生じておりました。詳細に調査をすれば一年中決算委員会をしても時間が足りません。今までの決算と同様の疑義があります。今回の決算認定において反対いたします。

反対

山川 楠人 議員

市の関係者が中心である宿泊税検討委員会で、宿泊事業者の総意が十分でないまま導入案が提出されました。約500万円の費用が無駄になり、宿泊事業者を混乱させた現状を、市は深く反省すべきです。

反対

金子 研世 議員

本請願は、志摩市小中学校校長会、および三重県教職員組合南勢支部のパフォーマンス、そして自己満足であると判断し、そして、請願者は真剣に子どもたちのことを考えていないと判断することから本請願に反対します。

反対

金子 研世 議員

本請願の要旨は、教職員の定数改善計画を利用した教育予算の拡充であり、子どもたちのためをかたて、実は教職員の待遇改善、そして、身分保障が真の目的であることから、本請願に反対します。

反対

金子 研世 議員

本請願も請願第3号と同じく、子どもたちのためをかたて、実は教職員の待遇改善、身分保障が真の目的であることから、本請願に反対します。



一般質問 市政のここを聞く！



12人の議員が熱弁

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市政全般について、市長の考えや意見を求め、事情をただし、議員や市民の意見などを述べることをいい、定例会でのみ行われます。

議員一人の持ち時間は60分以内と定めており、議会だよりでは、一般質問を行った議員本人が作成した原稿を、議会広報特別委員会で確認して掲載しています。

一般質問一覧

議員名	質問事項
森 光子	・カムチャツカ半島地震津波警報に伴う避難状況と避難所運営など検証と課題について ・私の任期中に一般質問や委員会質疑を行った事業の進捗状況について
濱口 卓	・防災対策について
山本 桂史	・コミュニティバス等の運行について
西崎 甚吾	・障がい者相談支援事業の現状と、令和6年度の実績を問う
下村 卓也	・志摩市スクールバス及びスクールタクシー運行に関する要綱の改正について ・避難所等の整備状況について
野名 澄代	・志摩市進学応援基金条例について ・小中学校タブレット活用の効果と学力について
小河 光昭	・今後の志摩市小中学校のあり方について
堀江しおん	・観光と防災の一体的なまちづくりについて
松井 研二	・防災・空き家・移住対策を連携させ、住民の主体性を引き出す持続可能なまちづくりについて
井上 幹夫	・避難所の開設について ・観光客誘客について
渡辺友里夏	・男性の育児休業取得について ・敬老の日の予算を有効活用するための対応策について ・配食サービスについて ・インクルーシブ遊具の存在の意味を伝えることについて
金子 研世	・市内小中学校等における不適切な寄附の対応について ・学力向上について ・人口減少について

お手持ちのスマートフォン等で二次元コードを読み取ると、各議員の質問をYouTube動画で視聴できます。

また、YouTube「志摩市議会」チャンネルからも視聴できます。

【URL】 <https://www.youtube.com/channel/UCCKomb7OND19H0Yg7ZZqLgw>



こちらから



もり 光子
森 光子

議員

いのちを守るため 災害への備えを



YouTube

問 市内の避難者1093人という結果に対する、見解を問います。

答 危機管理統括監 カム チャツカ半島地震の津波注意報・警報が発表され、市内に避難指示を発令し、市の指定避難所48カ所、自治会開設の避難所8カ所の計56カ所を開設しました。

避難者数1093人は、これまでの避難者数としては最も多いと理解しています。

日頃より自治会が防災啓発活動を行い、多くの市民が津波Ⅱ安全な場所への避難という意識をもって、迅速な避難行動を行った結果と受け止めています。

使用マニュアル設置へ

問 酷暑の避難でしたが、課題や教訓を問います。



安心できる避難所を

答 危機管理統括監 熱中症対策や酷暑の中での長期避難は検討課題と認識しました。災害関連死の防止は、今後取り組み重点項目と考えています。避難所環境を改善する対策として令和6年度に市内の社会体育館に39基スポットエアコンを整備しました。

また使用方法等を避難所運営にあたる職員への周知が十分でなく、適切な運用に繋がらなかった部分がある

つたと報告を受けています。備品や設備に関して職員や自治会関係へ操作研修をする 것과保管場所の案内等、使用マニュアルの設置に取り組みたいと考えています。

ペットを守るために

問 ペットの避難所のあり方を問います。

答 危機管理統括監 ペットの受け入れスペースは各避難所で考えるということ周知しています。

ペットの同行避難や同伴避難の参考にしてもらっために「うちの子防災手帳」をホームページで周知しています。



はまぐち たかし
濱口 卓

議員

津波警報への対応を 確認



YouTube

問 津波避難は徒歩が原則と理解していますが、今回は、私も高齢者を乗せ車両避難をしました。多くの市民が車両避難をしたようですが、市内全体の状況を把握していますか。

答 危機管理統括監 詳細な車両避難数の把握はして

いませんが、今回は地震による道路損傷もなく、時間的余裕もあったため、車両避難が選択されたと推察します。避難手段や経路は、ハザードマップで安全な避難ルートを確認するなど、事前準備等の重要性に関して、より一層の啓発を図っていきます。



多くの人が車両避難を選択

情報伝達の強化

問 「自助・共助・公助」の強化は重要ですが、市民や自治会等、多様な実状があります。丁寧に聴き取り、その分析結果を検証し、フィードバックすることが課題解決につながります。また、情報共有には、SNS等、様々な方法があると思いますが、対策本部で根本的な課題を把握する手段はありますか。

答 危機管理統括監 避難情報等、命を守るための情報を迅速かつ正確に伝えるため、今後市民アンケート調査や新たな情報発信ツールの検討を進めていきます。

答 市長 「自助・共助・公助」の重要性を理解し、地域防災力の最大化を図ることが、災害に強い地域づくりにつながると思っています。今回の津波警報対応で、再確認するとともに、ぜひ、市民の皆さんとともにスピード感を持って大きく図っていければと思います。



やまもと 山本 けいし 桂史 議員

高齢者の交通手段



YouTube

問 各地区での運行を聞きます。

答 政策推進部長 阿児町でコミュニティバス志島循環線を、磯部町で予約運行型バスハッスル号を、実験段階の大王町と志摩町ではデマンド交通のりあいの運行です。

浜島予約運行型バス

問 業務内容を聞きます。

答 政策推進部長 公共交通空白の解消や鵜方への買物等を目的とした移動需要への対応に係る検証を行います。



デマンド交通の実証実験車両

問 運行ルートを聞きます。

答 政策推進部長 南張・浜島と鵜方を結ぶルート、松山路・塩屋・迫子・大崎と鵜方を結ぶルートを考えています。

問 停留所は南張4カ所、浜島16カ所、松山路3カ所、塩屋1カ所、迫子3カ所、大崎3カ所、鵜方3カ所で調整しています。1日の運行便数は、2ルートとも3便の予定です。

問 料金体系を聞きます。

答 政策推進部長 三重運輸支局への許可を得る前提で、浜島町内は定額制200円、南張から鵜方750円、浜島から鵜方600円、松山路から鵜方450円、塩屋から鵜方400円、迫子から鵜方350円、大崎から鵜方300円と考えています。

問 乳母車等は乗せられるのか聞きます。

答 政策推進部長 乗車に支障がなければ持ち込みも今後、検討します。

問 運転免許証返納者等の割引を聞きます。

答 政策推進部長 今回の実証実験では割引は想定していませんが、今後の本格的な運行に向けて、路線バスの割引制度を参考に、他地域で運行するコミュニティ交通も含めて、検討を行います。

問 実施予定を聞きます。

答 政策推進部長 令和7年11月から令和8年1月までの3カ月間を想定しています。

問 令和7年度のみなのか聞きます。

答 政策推進部長 令和8年度も第2期目となる実証実験の検討を考えています。



にしざき 西崎 じんご 甚吾 議員

新たな相談支援体制

問 長年、随意契約で一つの事業所に業務委託してきた障害者相談支援事業が、令和7年度新たな契約に変更された現状を聞きます。

答 福祉事務所長 令和6年3月定例会での請願を受けて、相談支援体制の見直しを行いました。

問 令和7年度からは基幹相談支援センターを中核とし、委託事業と自主事業の計画相談業務を明確化、公平性を確保しプロポーザル方式で事業者を選定、体制を構築しました。

問 選定された二つの事業者間で、事業内容や予算に大きな差がありますが、令和8年度では同じ条件で公募を行いますか。

答 福祉事務所長 関係機関等との検討会議の結果、適切と判断しプロポーザル

障がい者相談支援の現状と実績は



YouTube

を実施しました。令和8年度も検討会議等の意見も聴きながら体制を整備します。

公表なし計画相談実績

問 令和6年度の委託相談支援実績は2560万円でした。事業所の自主事業である計画相談支援実績は、開示請求した事業所別情報に記載の2592万円ですか。

答 福祉事務所長 自主事業の計画相談支援業務に係る事業実績は、法人経営に関わる個別情報であるため答弁を差し控えます。

問 事業所の事業実績である資金収支計算書を見ると、委託相談支援業務では収支の差額がないことから、計画相談支援業務で事業全体の収支差額が発生したと推測されます。

令和6年度の収支差額1





しもむら たくや
下村 卓也 議員

スクールバス運行の 要綱改正を



YouTube

要綱改正の検討を

問 スクールバスおよびスクールタクシー運行に関する要綱の改正をする考えはありませんか。

答 教育部長 通学距離や

通学する子どもたちの人数といった状況も確認しつつ、より安全な通学方法を確保するため、再度検討していきたいと考えています。

問 スクールバス等の利用に学年制限がある地区とない地区がありますが、不公平ではないですか。

答 教育部長 過去には学

校再編に伴う協議を踏まえて、スクールバス等の利用対象者を定め、通学方法を決めていました。今後はスクールタクシーにより磯部小学校に通う坂崎地区の学年制限も、地域の事情を踏まえつつ、改めて検討して

いきたいと考えています。

問 スクールバス等の路線変更をしなくてもよい場合は、校区外の児童生徒であっても乗車を新たに認めるという運用変更をする考えはありませんか。

答 教育部長 既存の路線

変更に伴わない範囲での乗車も、原則に従って判断します。このことを踏まえ、スクールバス等の運用の変更は、やむを得ない事情がない限り考えていません。

避難所のトイレ整備は

問 トイレ環境整備はどこまで進んでいますか。

答 危機管理統括監 トイ

レは、災害関連死予防の観点から非常に重要な課題であると認識しています。市のトイレ環境の整備状況は、まず簡易トイレおよび排便



皆さん聞こう、防災講話

処理剤は、市備蓄計画に基づき、南海トラフ地震の過去最大規模発災時において想定される避難者をもとに、調達備蓄を行っており、災害発生初期段階において必要となる50人につき1人の数量は確保しています。

公平な子育て支援策を



の な すみよ
野名 澄代 議員

問 国は少子化対策や教育機会の均等化を目的として、所得制限を撤廃している中で、市の進学応援基金条例に設けられた所得制限は、その動向に逆行しています。所得制限を撤廃して、対象となる子どもたち全員を応援できる制度を検討する余地はありませんか。

答 教育部長 所得制限を撤

廃した場合、財源はかなりの額になり、制限は必要と

思います。

ただ、運用の中で条件緩和に関しては、今後、検討の余地はあると思いますが、財源は非常に厳しい状況です。

問 所得制限による子育て世帯の分断や、不公平感が生じる懸念を検討しましたか。

進学応援基金の 所得制限撤廃を



YouTube

答 教育部長 すべての人に公平に一律給付するのが、一番良いとは思いますが、財源確保の観点から現時点では厳しいと考えています。

問 給付額を抑えて、より多くの世帯を支援する検討はしましたか。

答 教育部長 経済的理由

により、進学困難な者に対し、学費を給付する観点から所得制限を設けました。

問 子育て支援の財源確保

に向けた、全事業の見直しは考えられませんか。



誰もが受けられる進学応援を

答 教育部長 教育委員会だけでは難しいと思いますので、現状に応じた柔軟な対応は今後、考える必要があると思っています。

議員削減額を子育てに

問 議員から「議員定数2人削減による差額約1150万円を、進学応援基金に充当してほしい」との意見も出ています。

答 市長 教育委員会の提

案を受け、予算査定の中で議論しますが、議員の熱い思いは受け止めます。

答 教育部長 大変ありがたい提案と受け止めます。議員の思いを肝に銘じ、有効な使い方を検討していきたいと思っています。



おがわ てるあき
小河 光昭 議員

中学校から 部活動が消える



YouTube

問 中学校の部活動が、生徒数の減少、教職員の働き方改革により、存続の危機にあります。

部活動の「地域展開」に対する教育長の見解、取り組みを問います。

答 教育長 地域展開とは、学校も含めた地域の中での、子どもたちのスポーツの機会を確保していくものであると考えます。

やりたいスポーツ種目ができない子どもたちにそういった機会を提供することです。令和8年度の秋、まず休日の地域展開を目指し、条件整備を進めているところです。

問 団体種目の減少で、平日はやりたいスポーツができないわけですが、平日はどうしますか。

答 教育長 子どもたちの運動の機会を確保したいと

いうことで、それぞれの部活動は進めます。

また、総合的な部として体力づくりをしながら、今日はどの種目をやろうという選択で、部活動を運営する考え方もあります。

問 専門のコーチが学校に行つて指導することは可能ですか。

答 教育長 学校の部活動を支えてもらう地域の人が学校に入ってもらうことは何も問題ありませんし、地域展開の一つの手法であると思っています。

学校統廃合整備計画は

問 小中学校統廃合の計画に関して教育委員会は「令和6年6月、学校の再編に向けては加速する時期に来ている。学校の整備計画の検討をしていく」と答弁し



寂しくなる校庭

ましたが、検討は進んでいますか。

答 教育長 現在、浜島中学校の統合を進める中、統合計画を組むことの危険性を感じており地域の声を聞いて、地域の意向に沿ったものを実行していくことが一番大事と考え現在に至っています。



ほりえ しおん
堀江 しおん 議員

避難の不安解消へ 観光の活用を



YouTube

問 観光客数が人口を上回る本市において、複雑化する災害リスクをどのように認識していますか。

答 市長 観光客にとって安全・安心な旅行環境を整備することは、市や観光関連事業者の責務であると認識しています。

答 観光経済部長 災害時には、交通手段の確保や多言語での情報提供、避難場所の周知等、多様な課題が発生します。地域が一体となった防災・減災対策をさらに推進する必要があると考えています。

問 災害時に宿泊・観光施設を避難所として活用することへの見解を問います。

答 危機管理統括監 宿泊施設は耐震性や自家発電設備、物資・人材等を備えており、防災拠点として高いポテンシャルを秘めています。指定避難所だけで避難

者を収容することは困難であるため、防災協定を含め施設との連携を進めていきます。

問 自治会と宿泊施設が連携して避難施設を確保する取り組みへの見解を問います。

答 危機管理統括監 自治会が民間施設と連携することの取り組みは、自助としての防災力を高める好事例であり、他地区の沿岸部にも効果的な手法だと評価しています。



大崎自治会と宿泊施設の合同防災勉強会

市としては、まず市と事業者との協定を進め、快適な避難環境の確保に努めていきます。

問 今後、観光防災政策をどう位置付け、どのような方針で推進していきますか。

答 観光経済部長 事業者への研修や訓練支援を強化し、安全・安心な観光地ブランドを確立します。

答 市長 観光防災は地域を魅力的にする要素です。専門指導員の知識を生かし、市民や観光客が「正しく恐れ、正確に行動できる」地域づくりを進めます。



まつい けんじ
松井 研二 議員

防災・空き家・移住を 三位一体で



YouTube

問 防災計画における、空き家・移住者への位置付けを問います。

答 危機管理統括監 現在の志摩市地域防災計画においては、「防災」「空き家」「移住」これを一体で捉える視点が明記はされていません。また、基本方針も現在、定められていません。

まずは、現在の空き家、移住者への施策を実施し、現行の施策に防災の視点を加え、市の関わり方や今後

の可能性を探っていきたいと考えています。

問 住民提案型の「地域課題解決ファンド」を創設する考えはないか問います。

答 危機管理統括監 空き家を改修した、例えば、防災井戸つきコミュニティカフェや移住者と協働する防災マップづくりといった住民提案型のプロジェクトは、地域の主体性を引き出して、課題解決につながる取り組みとして、有効だと認識しています。

本市でも、地域課題解決事業という制度があります。そこも含めて、住民や団体が行う地域活動を支援しています。提案のあったファンドの創設は「人・物・財源」を一体的に組み合わせるという視点が重要であると考えていますので、実現の

可能性や効果を、探っていきたいと思っています。

問 ゲームフィクション※を活用した防災・空き家・移住連携策を問います。

答 危機管理統括監 地理に不慣れた移住者が、楽しみながら地域の避難経路や危険箇所を学ぶのに役立ち、空き家の実態把握にもつながる可能性があるかと認識しています。

まず、様々な手法を調査し、地域全体の防災意識の向上に努めたいと考えています。

※ゲームフィクション：ゲームの要素等を他分野に応用し、行動を促す手法のこと。

新しい施設の建設は

問 天橋立の傘松公園のり

今後は「しまる号」の運行拡充や新たな周遊施策に努めます。

巡る周遊バス「しまる号」は観光スポットが点在しているため、これらのスポットをつなぐ周遊施策は極めて重要です。

志摩や志摩市観光農園等を巡る周遊バス「しまる号」を運行しています。市内には観光スポットが点在しているため、これらのスポットをつなぐ周遊施策は極めて重要です。

答 観光経済部長 周遊施策で「横山VIEWタクシー」の運行や、道の駅伊勢志摩や志摩市観光農園等を巡る周遊バス「しまる号」を運行しています。市内には観光スポットが点在しているため、これらのスポットをつなぐ周遊施策は極めて重要です。

横山を訪れた観光客を市内各地区へ誘導する取り組みを問います。

答 観光経済部長 ニーズは多様化しています。横山展望台の訪問客から志摩の自然に感動したといった声が多数寄せられています。これは、観光客が本市の誇る唯一無二の自然そのものに価値を見いだしているという証と考えています。限られた財源を有効に活用するため、市の「あるもの」をさらに磨き上げ、深い感動や体験を提供する施策に投じたいと思っています。

問 フトを参考にした、阿津里浜と金比羅山の頂上、そして、御座の爪切不動尊を結ぶ空中観覧は、観光客のニーズとかけ離れていますか。

答 観光経済部長 阿津里浜と金比羅山の頂上、そして、御座の爪切不動尊を結ぶ空中観覧は、観光客のニーズとかけ離れていますか。



天橋立を望むリフトを参考に

市内全域が潤う 観光誘客を



YouTube



いのうえ みさお
井上 幹夫 議員

あるものさがし誘客に

問 「あるものさがし」によって、市内全域に経済効

果をもたらすようなアイデアを公募する考えはありますか。

答 観光経済部長 市民からのアイデア公募は、貴重な意見を募る有効な手段だと認識しています。その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。

その際は、目的と公平性を慎重に検討する必要があります。そのため、市内全体の経済効果につながるよう、幅広い視点から可能性を模索していきます。



わたなべ ゆりか
渡辺 友里夏
議員

敬老会補助金 増額を



YouTube

問 敬老会事業補助金の増額はできませんか。

答 福祉事務所長 敬老会事業補助金は、高齢者の長年にわたる地域への貢献に感謝し、長寿を祝うため、自治会等の団体が実施する事業の費用を補うものとして、1人当たり750円で、対象者に交付しています。

物価高騰の状況を踏まえ、他市町の状況や他の施策とのバランスを考慮し、検討していきたいと考えています。

格差是正 市の支援で

問 一部の地域で敬老会が実施されず、予算が未活用になっています。地域による格差をなくすための市のサポートはできませんか。

答 観光経済部長 令和6年度の敬老会が実施されていない地域は、対象地区46

区中4地区です。後継者不足が課題であることを認識しています。各地域で敬老会が実施されるよう、地域の関係者との取り組みを進めていきます。

なくそう 高齢者負担

問 配食サービスで出るお弁当のプラスチック容器が、高齢者宅にたまってしまいう問題があります。環境負荷軽減のため、繰り返し利用できる容器への変更はできませんか。

答 福祉事務所長 配食サービス事業は、高齢者の居



たまりませんか
プラスチック容器

宅に定期的な配食を行うことにより、食生活の改善、健康保持および孤独感の解消を図るとともに、お弁当を手渡しすることで、見守りにより、在宅の自立生活を支援することを目的としています。再利用可能な容器の導入は、衛生面での課題があり、調査研究を進めていきたいと考えます。

問 ごみをためてしまう特別なケースに対し、容器回収サービスを行うことはできませんか。

答 福祉事務所長 事業者とも情報を共有し、可能な支援を協議してまいります。



かねこ けんせ
金子 研世
議員

子どもたちへ 明確な還元を



YouTube

問 令和7年6月定例会で調査を要求した、不適切な寄附で得た物品に対する相当額の調査は、どのような結果であったのか、問いま

答 教育部長 令和4年度から令和6年度の3年間で401万8322円分が、PTA等の会費によって賄われていることを確認しました。

問 令和7年6月定例会において、不適切な寄附で得た物品に対する相当額は「目に見えるかたち、つまり、本市の予算に反映して子どもたちに還元していくべき」と提案しましたが、それぞれどのような手法で



子どもたちに還元していくのか問います。

答 教育部長 今後3年間で約400万円分を通常予算に上乗せして調整を図っていきます。

問 令和7年6月定例会において、不適切な寄附で得た物品に対する相当額は「目に見えるかたち、つまり、本市の予算に反映して子どもたちに還元していくべき」と提案しましたが、それぞれどのような手法で

予算書でわかる形に

問 教育委員会の約400万、福祉事務所の約55万、通常の予算に3年間、上乗せしていく手法では、明確に子どもたちに還元されたのかどうか、わかりません。よって、子どもたちへの還元を明確に示すためにも、3年間は予算書に特別な項目を作成する形で対応すべきと考えますが、見解を問います。

答 教育部長 どこに使われたのが明確になるように今後3年間で文化芸術等の事業費として予算を抽出するような工夫をしていきたいと思っています。

答 福祉事務所長 教育委員会と同じような考え方で考えています。



令和7年8月19日に第2回臨時会を開催し、令和7年度一般会計補正予算（第3号）を含む3議案を、原案のとおり全会一致で可決しました。

令和7年
第2回臨時会

議案の審議結果一覧

●全会一致で可決した議案等

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

区分	議案名
その他	報告第7号 専決処分の報告（損害賠償の額を定めること）
	議案第47号 令和7年度一般会計補正予算（第3号）
	議案第48号 令和7年度水道事業会計補正予算（第2号）

第2回臨時会で可決

令和7年度 一般会計補正予算

補正額（第3号） 1億 61万4千円
予算総額 285億3576万9千円

補正第3号

水道基本料金免除
財源は妥当か

水道事業会計繰越金

水道事業会計補助金
1億61万4千円

原油価格・物価高騰等の影響を受け、市民生活の支援のため、9月から11月の3カ月分の水道料金基本料を免除するためのものであります。

問 水道基本料金免除の財源として、寄附者の意向に沿わない可能性のある、ふるさと応援基金を使うことは妥当ですか。

答 物価高騰対策は市民生活を守る政策的経費であり、基金活用は趣旨に沿うと判断しています。引き続き、災害に備える財政調整基金は確保しつつ、国の動向も見極めながら支援策を検討していきたいと考えます。

常任委員会管外視察研修レポート

総務産業常任委員会の委員が、7月1～2日の日程で管外視察研修を行いました。

【研修先・研修内容】

- 石川県金沢市・地域コミュニティの活性化について
- 石川県・能登半島地震、奥能登豪雨における災害対応について
- 石川県珠洲市・被災地の状況及び復興復旧の課題点等について



詳細は「志摩市議会」ホームページに掲載しています。



豪雨により発生した土石流による被災状況

「多重被災」から復興へ
能登半島地震と豪雨による「多重被災」で甚大な被害を受けた石川県珠洲市。この災害では、死者170人、住家被害1万5066棟にのぼる壊滅的な被害が発生しました。市役所では、発災直後に出勤できたわずか10人の職員が、約300人の住民対応に追われました。

今回の視察でわかったこと
本市が今後の災害に備えるためには、複合災害への対応強化、ライフラインの分散化、外部支援を受け入れる「受援力」の強化、そしてICTを活用した情報共有システムの導入が必要です。さらに、議員の災害対応力強化や災害廃棄物処理用地の事前確保も重要です。これらの対策を進めることで、人的被害の最小化や復旧の早期化、避難生活の質の向上が期待されます。しかし、財源確保や住民の意識向上、観光客への対応等が今後の課題です。



海の中に設けられた仮設道路

こんにちは
志摩びとさん

志摩市で活動するぴかっとひかる人をご紹介します。

もりした さおり
森下 里織 さん

「海から生まれる 唯一の宝石を守りたい」

●事業の内容を教えてください。
阿児町立神でアコヤ真珠の養殖を行っています。

●その事業を始めた理由を教えてください。
もともと家業として真珠養殖を営んでいましたが、夫の両親が体調を崩したことをきっかけに、サラリーマンを辞めて地元へ戻り、跡を継ぎました。現在は夫婦で力を合わせて養殖を続けています。

●その事業の楽しさや魅力を教えてください。
厳しい海の環境を耐え抜いて、元気なアコヤ貝が美しい真珠を生み出してくれた瞬間に大きなやりがいを感じます。

丹精込めて育てた真珠が、さまざまな場面でいつまでも美しく輝き続けることが、この仕事の最大の魅力です。

●地域の人たちへのメッセージ

真珠業界は、後継者不足や海の環境変化など課題が年々増えています。三重県を代表する大切な地場産業を、できる限り長く次の世代へつなげたいと考えています。時代のニーズや自然環境の変化に対応しながら、養殖の形を工夫・進化させ、未来へと継承していきたいと思っています。

令和7年第4回定例会日程（予定）

12月	1日	本会議
	5・8・9日	本会議（一般質問）
	15日	総務産業常任委員会
	16日	教育厚生常任委員会
	17日	予算決算常任委員会
	23日	本会議

市役所6階議場・委員会室にて午前9時から
※都合により変更になる場合があります。
※本会議はだれでも自由に傍聴でき、委員会は各委員長の許可により傍聴できます。

「しまし議会だより」はボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある人に音訳（朗読）による広報をお届けしています。



より良い議会だよりに向けての アンケートにご協力ください！

皆さんに読んでいただける議会だよりを目指してアンケートを実施しています。

ぜひ回答にご協力をお願いします。



スマートフォン等で左記の二次元コードを読み取るか、以下の URL よりアクセスしてください。

【URL】 <https://logoform.jp/form/c8nc/866068>

議会広報特別委員会	委員長	堀江しおん
副委員長	森 光子	
委員	松井 研二	
委員	井上 幹夫	
委員	前田 俊基	
委員	渡辺友里夏	
委員	野名 澄代	